

北の密室考

観覧料 (常設展観覧料)

一般 500 (400) 円 高大生 250 (200) 円

中学生以下、65 歳以上無料 / () 内は 10 名以上の団体

道みんの日 (7 月 17 日) はすべての方が無料

所蔵資料による小さな企画展シリーズ・文学館アーカイブ。今回は、ミステリー小説、中でも「密室もの」に注目します。

「密室」——閉ざされ外部と遮断された部屋。そこで起こる殺人事件。密室殺人は、ミステリー小説における「不可能犯罪」の一種であり、国内外の多くの作家によって様々なトリックと趣向を凝らした作品が書かれてきました。

北海道は、あまたのミステリー作家を輩出し、また作品の舞台としても度々選ばれる、まさにミステリー小説の宝庫といえる場所です。広大な自然や独自の風土をモチーフとしたミステリー小説が思い浮かぶかもしれませんが、同時に「密室」を題材にしたミステリー小説にもすぐれた作品が数多く存在します。

本展では、当館が所蔵する北海道に関わるミステリー小説から密室殺人を題材にした作品、いわゆる「密室もの」を展示します。北海道を舞台にした作品、また、北海道ゆかりの作家による作品をご紹介します、北海道ミステリーの一つの楽しみ方をご案内します。

2025 年 6 月 18 日 (水) ~ 8 月 24 日 (日)

9:30~17:00 (入場は 16:30 まで)

月曜日休館 (ただし 7 月 21 日、8 月 11 日は開館、7 月 22 日、8 月 12 日休館)

※常設展示室内、文学館アーカイブコーナーでの展示です

同時期開催：

道立文学館開館 30 周年 特別展

安部公房展 21 世紀文学の基軸 / 6 月 28 日 (土) ~ 8 月 24 日 (日)